



ショウちゃん
めぐる

ぶらり昭和区MAP

つも ま おら くら しらかわ
〜鶴舞・村雲・白金〜

マークについて

- 史跡、社寺など歴史的まちあるきポイント
- 公共施設、公園などのまちあるきポイント
- マップの裏面にコラムがあります。

- 神社
- 寺院
- 消防署
- 学校・幼稚園・保育園等
- 交通・警察署
- 郵便局
- バス停
- コンビニエンスストア

御器所台地をめぐるルート

- 学区境界線

スマホサイト

市営バスの各バス停の時刻表はこちらからご覧ください。

市バス・地下鉄テレホンセンター
TEL 052-522-0111
営業時間 8時～19時

1 大悲山 光園寺

大悲山光園寺は宝永4年(1707)開基釋文加が遠江国(静岡県)小笠原郡掛川町に廣楽寺の塔中として創建しました。第10世釋敬應の時、現在地の尾張国、愛知郡御器所村字御器所字吸場71番地に大正8年(1919)7月移転しました。そして第11世釋順信前住職の時、本堂・山門等を完成しましたが、昭和20年3月19日、空襲にあい全伽藍を焼失しました。

その後は仮本堂でしたが昭和62年1月に本堂と山門が完成、同年11月に落慶法要を行いました。本堂の金色の欄間は京都の職人によって作られ、見ごたえがあります。



2 白金児童館

日本で4番目、愛知県では最初にしてきた児童館です。「いつでも自由に遊べる場」「子育て世代の交流の場」、「地域との交流の場」として誰でも自由に利用することができる地域の拠点です。季節や文化を感じる行事や高齢者のふれあい行事、子育て家庭を対象としたクラブ活動や交流事業も行っています。



3 佛力山 本立寺

日蓮宗。文禄元年(1592)に円蔵院日喜上人が清洲に開山しました。慶長15年(1610)から名古屋築城が始まり、その後の清洲越しで、東区小川町(現在の東桜二丁目)に移りました。昭和20年戦災により楼門を除いて全焼し、昭和26年に現在の地へ移転しました。本尊は曼荼羅。戦災を逃れた楼門は鐘楼門と言われ、明治15年に建立されたものです。鐘楼の役割は鐘の音の回数で時間を知らせたということです。



4 旧伊藤(耳鼻咽喉科)医院

昭和7年に診療所として建てられました。外壁には昭和初期に流行したスクラッチタイルが貼られ、レトロな雰囲気がたのびます。築50年以上経過した景観的・文化的価値を有する建造物として、名古屋市登録地域建造物資産に登録されています。



5 尾陽神社

尾張藩初代藩主徳川義直と最後の藩主である徳川慶勝を祀る神社で、明治43年(1910)、名古屋開府300年を記念して創建されました。尾陽の名は、義直の「尾陽公」からとったものです。本殿は昭和20年の名古屋大空襲により焼失、仮本殿も昭和34年の伊勢湾台風で倒壊しましたが、昭和45年に再建されて現在に至ります。

また、この地は嘉吉年間(1441～1444)に佐久間家勝が築城した御器所西城跡と言われ、鳥居脇に標柱と説明板が立てられています。



6 瑞現山 宗園寺

曹洞宗の寺院で、本尊は十一面観世音菩薩です。地下鉄荒畑駅近くにある龍興寺の末寺で、同寺の四世白山を開祖とします。本堂では毎月第4日曜日に座禅会も行われています。

道路に沿って南西側に回ると、石仏を収めた小堂があり、左端に宝篋印塔(ほうきょういんとう)が安置されています。旧広見ヶ池畔の野墓にあったものを移転・復元したもので、市内に現存する最も古い宝篋印塔の一つとして、名古屋市有形文化財に指定されています。



7 亀齢山 久松寺



戦国時代の1550年頃、駿河守・藤原忠利が御堂を建立し、長松院と名付けたのが寺の始まり。元和2年(1616)藤原氏の末裔・前田家の菩提を弔うため、その末裔・奥村庄左エ門が再興し、曹洞宗・久松寺となります。本堂は、幕末の慶応2年(1866)一時廃寺となった寺を再興した當山14世桂尊嶺枝大和尚(けいけくどんしだいおしょう)時代の建立。この骨組みを残し、平成28年に檀家の協力により耐震工事が加えられました。平成29年、山門新築。ご本尊は阿弥陀如来。他に延命地藏菩薩・弘法大師等を祀ります。

8 清澤山 浄元寺

曹洞宗。地下鉄荒畑駅近くにある龍興寺の末寺。永禄年間(1558～1569)正跡浄元を開祖としています。鎌倉様式の古風な本堂でしたが、戦災で焼失し、戦後再建されました。なお現住職は茶道責茶(ばいさ)流の家元でもあり、寺で茶会が催されます。静かな浄元寺の庭から木戸を出て西方の崖の手前に、銀杏の木に囲まれて姫塚があります。この塚には諸説があり、一説には150歳まで生じて殿様から長寿のお祝いの品を賜った正念という老女の塚と伝えられています。



9 大澤山 西福寺

境内右手に上部の欠けた標柱が立っています。昭和20年の名古屋大空襲で吹き飛ばされたもので、戦争の悲惨さを伝えています。寺歴は古く、天長6年(829)、弘法大師が真言宗寺院として建立。永禄5年(1562)、浄土真宗に改宗しました。以来、450余年を経た今も、間法(もんぼう)道場として慕われています。近年は地域の拠点となる寺院を目指し、昭和区社会福祉協議会の出張講座や、子ども食堂を開催するなど、さまざまな活動を行っています。



10 松嶺山 壽栄寺

明治初年(1868)に創建された曹洞宗のお寺です。本堂は石段を上った奥にあります。山門の右手の道路沿いに地藏堂があり、出世地藏のいわれを持つ立派なお地藏様のほか、弘法大師、不動明王尊、観世音菩薩、延命地藏大菩薩、重軽地藏尊などが安置されています。本堂を建て直したとき、地藏堂をこの場所に移したところ、「いつでも気軽にお参りができる」と喜ばれたそう。以来、地藏堂の扉は常に開けられていて、地域の人々の心のよりどころとなっています。



11 御器所八幡宮

創立年代不詳と伝えられていますが、一説には平安時代前期に仁明天皇の勅願社とされ、熱田神宮鬼門方位の守護として鎮座されたとも言われます。鎌倉時代に御器所西城を築いた佐久間家勝が、鎮護の社として厚く守護します。また、徳川家康が小牧・長久手の戦いの前に必勝祈願をした言い伝えがあり、必勝の神様として知られます。境内に菅原道真公を祀る御器所天満宮もあることから、今では合格祈願に多くの人が訪れます。赤丸神事やお馬塔神事など、子どもの健やかな成長を願うお祭りも行われています。



12 醫王山 神宮寺

御器所八幡宮の右手に位置する神宮寺は、御器所最古の真言宗の寺院で、嘉祥3年(850)熱田神宮鬼門除けの修法祈願所として創建されたといわれています。昭和20年の名古屋大空襲で焼失しましたが、昭和46年に再建されました。毎年11月8日に秘仏薬師如来の御開帳があり、秘仏の持物である薬壺(やっこ)に模された「やっこ餅」が供えられます。古くより食べれば病氣わずらいがないといわれ、参拝者で境内が賑わいます。また、1歳になる赤ちゃんに一升餅を背負わせ成長を願う祈禱会も開催されています。



13 延命地藏と亀口の泉跡

御器所台地の崖下に、名水が湧いていました。清水の湧き出る水口が亀に似ていたことから「亀口の泉」と呼ばれていました。残念ながら、その遺構を見ることはできませんが、その傍らに文化元年(1804)建立の延命地藏が祀られています。足の組み方が特徴で「半跏伽像(はんかいぞう)」と呼ばれる形態。この地藏は、空襲の被災を受けていないことから、ご利益があると親しまれています。



14 普照庵 龍福寺

八事興正寺が創建された時、開祖の生母である普照尼が創建した寺です。本尊が地藏尊ということから、地藏寺とも言われています。この地藏尊は、山伏が寺の柳の大木から弘法像三体をつくり、尾張3箇所を設置したひとつで、尾張三弘法の元祖といわれています。また、名古屋二十一太師霊場の一つとして、お遍路めぐりの参拝者も多くいます。



15 尾張箸蔵寺

名古屋における箸蔵山金毘羅権現(徳島県)の信者の激増に伴い、大正5年(1916)に西区に設立された「金毘羅大権現講義所」が始まりで、昭和4年に現地に移転しました。なお、昭和23年の宗教法人制定に伴い、箸蔵寺名古屋別院と称していましたが、平成21年より尾張箸蔵寺(真言宗御室派)として独立。本尊は、金毘羅大権現ですが、秘仏で見えることはできません。前立仏として、大日如来が祀られています。祭壇には鏡も安置され、その前に鳥居もあり、神仏習合を色濃く残しています。護摩祈禱や水子供養の寺としても有名です。また、本堂は徳島県の箸蔵寺(金毘羅奥の院)の本堂を模して作られています。



地図の情報は、平成31年3月現在のものです